

グリーン調達ガイドライン

序文

現在、気候変動による自然災害の頻発・甚大化、資源の枯渇、生態系の破壊など、地球環境問題は、最重要課題となっております。

特に、国連気候変動枠組条約パリ協定を背景に、世界各国が、2050年までのカーボンニュートラル実現を表明しており、世界が脱炭素化に向けて加速しています。

企業への期待もますます高まっており、持続可能な社会の実現を目指すことが、企業にも求められています。

林商会は、環境保全を経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、積極的な取り組みを行っています。特にレアメタルレアアースは、貴重な資源であり、その資源は、世界に遍在しております。鉱山開発における地球環境の負荷は、非常に懸念されているものであり、また採掘における環境破壊は計り知れないものがあります。地球温暖化にもつながるものであります。

林商会は都市に眠るレアメタルレアアースを採掘するつまり、都市鉱山の開拓開発において、脱炭素型の経営をおこない、持続可能な社会の構築につとめてまいります。また環境負荷のより小さい製品を市場に提供していくことは、林商会の責務です。そのためには、資材・部品の調達から、加工・組立、輸送、使用、廃棄にわたる製品のライフサイクル全体を通し、環境負荷の低減に努めなければなりません。

またこれは弊社だけで実行できるものではなく、お取引先様の協力が不可欠です。世界の動向を見ると、脱炭素化に向けた取り組みに加え、有害化学物質や環境配慮設計に関わる規制強化に伴い、環境に配慮した調達業務がますます必要となっております。生物多様性の保全に繋がる活動や水資源保全への対応と合わせ、お取引先様と連携し、進めてまいりたいと考えています。当社の取り組みに対する皆様のご協力に感謝するとともに、より一層のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

2021.1.1

株式会社林商会

取締役 坂本亮